

2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年3月12日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926  
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の連結業績(2019年11月1日~2020年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	470	4.5	1	—	△0	—	△1	—
2019年10月期第1四半期	450	—	△5	—	△5	—	△5	—

(注) 包括利益 2020年10月期第1四半期 △1百万円(—%) 2019年10月期第1四半期 △5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	△1.73	—
2019年10月期第1四半期	△5.21	—

(注) 2019年10月期第1四半期及び2020年10月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載はしていません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第1四半期	838	443	52.8
2019年10月期	811	420	51.9

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 443百万円 2019年10月期 420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年10月期	—	—	—	—	—
2020年10月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の連結業績予想(2019年11月1日~2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,044	4.2	29	0.3	28	△0.6	14	△10.8	13.08
通期	2,083	3.0	52	21.1	51	23.5	27	64.0	24.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年10月期1Q	1,132,800株	2019年10月期	1,128,400株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2020年10月期1Q	242株	2019年10月期	242株
-------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年10月期1Q	1,128,254株	2019年10月期1Q	1,127,771株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予測に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等の効果より、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の増加等により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中通商問題の長期化や、新型感染症が中国をはじめ世界経済に与える影響等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2019年11月から2020年1月までの、らん鉢取扱金額は1,211百万円（前年同期比5.5%減）、数量では381千鉢（前年同期比6.9%減）と、いずれも前年同期比微減という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力の法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への深耕営業に注力いたしました。売上高は市場統計同様に前年同期比微減で推移いたしました。

ナーセリー支援事業におきましては、引き続き提携農園の生産指導に注力いたしました。また、復興事業として農業再生支援も継続して順調に進めることが出来ました。オリジナル園芸資材の販売強化にも努め、売上高は堅調に推移いたしました。

販売費及び一般管理費につきましては、荷造運賃の増加や人件費の増加、環境関連事業や植栽関連事業に係る費用の発生等により増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は470,452千円（前年同期比4.5%増）、営業利益1,376千円（前年同期は営業損失5,243千円）、経常損失503千円（前年同期は経常損失5,847千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,952千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5,878千円）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

#### (フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、引き続き異業種参入支援業務における経費削減ビジネスモデルの新規導入顧客開拓の強化及び既存取引先への販売強化に注力いたしました。

また、合同会社日本プリザーブドフラワー協会として、プリザーブドフラワーの提案・販売、及び既存会員向けのフォローから新規会員開拓の強化に注力いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は305,545千円（前年同期比1.0%減）となりました。

#### (ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き提携農園の生産指導、及び復興事業の一環として取り組んでおります胡蝶蘭栽培での農業再生支援の強化に注力いたしました。また、当社オリジナル園芸資材の販売強化にも努め、顧客開拓も順調に進めることが出来ました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は129,568千円（前年同期比17.6%増）となりました。

#### (フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、引き続き既存取引先等からの紹介による新規顧客開拓の営業強化に注力いたしました。

葬儀業界の環境としましては、葬儀に関する潜在的需要は今後も引き続き年々増加するものと推計されておりますが、大都市圏を中心に葬儀件数は増加する一方、依然として葬儀の小型化や核家族化等により葬儀単価は減少傾向にあり、当社におきましても単価の下落傾向が続いております。

今後は地方都市におきましても同傾向が顕著化していくものと考えられますので、引き続き変化していく葬儀業界全体の環境に柔軟に対応していくために、既存取引先や葬儀業界関係会社との情報共有に取り組んでおります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は31,360千円（前年同期比0.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は838,540千円となり、前連結会計年度末と比べ50,936千円減少しました。

流動資産は695,750千円となり、前連結会計年度末と比べ47,976千円減少しました。その主な要因は、仕掛品が24,595千円、その他に含まれております前払費用が2,058千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が37,718千円、受取手形及び売掛金が29,054千円、その他に含まれております前渡金が4,652千円がそれぞれ減少し、貸倒引当金が2,902千円増加したことによるものであります。

固定資産は142,789千円となり、前連結会計年度末と比べ2,960千円減少しました。その主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれております保険積立金が1,373千円増加した一方で、投資その他の資産のその他に含まれております投資有価証券が1,512千円、投資その他の資産のその他に含まれております敷金及び保証金が1,145千円、のれんが770千円それぞれ減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は395,372千円となり、前連結会計年度末と比べ49,643千円減少しました。

流動負債は252,158千円となり、前連結会計年度末と比べ59,253千円減少しました。その主な要因は、未払法人税等が25,383千円、買掛金が10,845千円、賞与引当金が10,633千円、その他に含まれております未払金が8,789千円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は143,214千円となり、前連結事業年度末に比べ9,610千円増加しました。その主な要因は、長期借入金が10,141千円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は443,167千円となり、前連結会計年度末と比べ1,993千円減少しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1,952千円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の業績予想につきましては、2019年12月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	352,115	314,397
受取手形及び売掛金	233,831	204,777
商品及び製品	37,703	37,539
仕掛品	102,885	127,481
原材料及び貯蔵品	74	74
その他	31,524	28,790
貸倒引当金	△14,407	△17,310
流動資産合計	743,727	695,750
固定資産		
有形固定資産	18,188	17,379
無形固定資産		
のれん	28,503	27,733
その他	5,082	4,839
無形固定資産合計	33,585	32,572
投資その他の資産		
その他	105,854	102,715
貸倒引当金	△11,879	△9,879
投資その他の資産合計	93,975	92,836
固定資産合計	145,749	142,789
資産合計	889,476	838,540
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,108	60,262
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	84,244	86,946
未払法人税等	28,321	2,937
賞与引当金	17,659	7,025
株主優待引当金	2,147	2,147
その他	87,931	72,839
流動負債合計	311,412	252,158
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	87,910	98,051
その他	5,693	5,163
固定負債合計	133,603	143,214
負債合計	445,015	395,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	139,732	140,058
資本剰余金	91,717	92,042
利益剰余金	212,352	210,400
自己株式	△465	△465
株主資本合計	443,337	442,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,123	1,130
その他の包括利益累計額合計	1,123	1,130
純資産合計	444,460	443,167
負債純資産合計	889,476	838,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)
売上高	450,013	470,452
売上原価	257,701	271,040
売上総利益	192,311	199,411
販売費及び一般管理費	197,554	198,034
営業利益又は営業損失(△)	△5,243	1,376
営業外収益		
受取利息	19	23
受取配当金	55	51
その他	141	126
営業外収益合計	216	202
営業外費用		
支払利息	305	315
持分法による投資損失	207	1,522
その他	307	243
営業外費用合計	820	2,082
経常損失(△)	△5,847	△503
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,847	△503
法人税、住民税及び事業税	771	1,436
法人税等調整額	△740	12
法人税等合計	31	1,448
四半期純損失(△)	△5,878	△1,952
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,878	△1,952



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純損失(△)	△5,878	△1,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	7
その他の包括利益合計	△91	7
四半期包括利益	△5,970	△1,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,970	△1,944
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。